

『能力を引き出す』

私自身これまでに会社の先輩や上司から、又、現在もそうですが様々な得意先やお付き合いの中から指示や要望、依頼を受け、自分はやったこともなかった、やってみようと思ったこともなかった、考えてもみなかった内容のことが多々あり、迷いながらやってみようとして引き受け、取り組んでみて「**自分の新しい能力を開発された**」と思う瞬間が何度かありました。相手や依頼主からこの人だったら要望に応じてくれると思ってもらえている、それに応えない手はない、そう思ってチャレンジしていくと要望に応えられるものになっていきます。

それは大きな自信になったり、喜びになったり、幸福感を感じる瞬間です。「**人間の幸福とは＝自分の天分を引き出すこと**」と言われますが、まさしくそうだと思います。

能力を引き出すのに、最も大切なのは「**チャレンジ精神**」です。自分には出来そうにないからと、取り組む前から諦めているようではいつまで経っても自分の能力を引き出すことはできない。挑戦なきところに幸福感や満足感は生まれてきません。「**困難な課題が現れた時が自分の新たな能力を引き出すチャンス**」であり、新しい自分の発見に繋がります。

部下に指示するリーダー・管理職もそうです。まだやるには経験がないから、出来そうにないから、時間がかかりすぎるから、そう思っていると何の能力開発もできません。**「チャレンジの後押し」**をすることが大切です。

「やらずに後悔する」「**やって後悔する**」、同じ後悔するなら高い目標に向かってチャレンジ、失敗しても経験したところに大きな値打ちがあります。

部下の個々の潜在能力を引き出すと業績があがります。部下の能力を最大限に引き出した結果です。

部下の能力を引き出そうとする管理職、能力を発揮しようとする部下、これが一つになった時、管理職と部下の信頼関係ができ仕事の成功へと繋がっていきます。



長嶺 堅二郎

